

<http://www.minamih.net/>



11・7・3(土)
南NEWS NO19

南の歴史を築いてくださった松田洋一郎ジュニアユース監督のご逝去にあたり、追悼の想いを込めた贈る言葉を印刷し配布しました。合わせて配布した第6回湯殿川カップ開催に寄せる言葉もお読みください。

自分のことだけ、目先のことだけにこだわる輩が増えている昨今、優しく、強く、熱く、誠実でピュアな松田さんの生き方はさわやかで感動させるものがあります。

あまりにも早いご逝去を悼み、お別れの式には500人を超えるみなさんが弔問に駆けつけてくれました。松田さんの生き方の素晴らしさに共感し感謝するみなさんが松田さんを送ってくれました。本当に有り難うございました。

松田さんの遺志を継いでこれからもGAMBAっていきましょう。みんなで力を合わせて“素敵な南”を創っていきましょう。

クラブ代表 矢上健一



飛田です。

コーチ会議でお話した通り、6勝1分け無失点で2位でした。得失点差の戦いになりましたが、最大の原因はエスペランサ戦を引き分けたことです。

たくさんの得点チャンスを活かせなかったことがその後の戦いを苦しくしてしまいました。

中央大会までやく1ヶ月。さらにレベルアップをして臨みたいと思います。

第9回 JFA 関東ガールズ8大会東京都大会

予選リーググループE

(4/29 緑が丘小)

南八王子 対 府中なでしこベリーズ 7-0 (前半5-0)

得点者 片寄優三 (5)、漆間花さん (2)

初戦なので緊張が少し心配でしたが、きさらぎ杯中央大会出場チームに完勝でした。特によかったところはプレスの速さ。ボールを持った相手に素早く体を寄せて自由にさせず、ボールを奪えば素早い攻撃で相手をゴール前に釘付けにできました。また人もボールもよく動いて、分厚い攻撃が出来たために、数えきれないくらいのチャンスを作ることができました。そして滝本さんや気仙さんの惜しいロングシュートもありましたが、頭がよく上がっている証拠です。ゴールが見えたらシュート、という基本を示してくれました。久しぶりだった小林さんはDFのポジションから思い切りの良いオーバーラップが有効で、さらに攻撃に厚みを与えていたし、サッカーを始めて一カ月の橋本さんは体の寄せるタイミングが素晴らしく、相手の攻撃の芽を何度もつぶしてくれました。

後半は3年生も含めて全員出場しましたが、小さい子がボールにガツガツ行く姿勢は本当に素晴らしいですね。誰が出ても結局シュートを一本も打たせない完ぺきな試合でした。

南八王子 対 OPJFC 4-0 (前半1-0)

得点者 片寄優さん (2)、片寄マさん、井上さん

経験の浅いチームと聞いていたので、前半は3、4年生を中心にしました。期

待した通りに出足の速さとドリブルの巧みさで小さい子たちでペースを握ります。キーパーの堅守でなかなか得点にはなりませんでしたが、なんとその壁を破ってくれたのは3年生の片寄マさん。漆間花さんからのボールをペナルティエリア左45度辺りで受けるとワンタッチで前を向き、そのまま左足でシュート。強烈なゴロのシュートが右サイドネットに決まりました。世界の一流のストライカーのシュートは強烈なゴロのシュートが多いのですが、私にはルーニーのようなシュートに見えました。

さて後半は、高学年を中心のメンバーにしましたが、圧倒的に攻めながら取った得点は3点と少し物足りない感じでした。何が悪かったかというプレーが遅くなってしまったからだと思います。どういうことかと言うと、少し力の差がある相手だとボールが持ててしまうので、いわゆるボールを持ちすぎて、プレーが遅くなってしまいます。さらに1対1になるとパスを使おうという意識が強すぎて、勝負を避けてボールキープに入ってしまうために、また攻撃が遅くなります。力の差があっても3、4人に囲まれてはさすがにボールを失ってしまいます。速い判断でボールを動かす、また周りの選手はコミュニケーションで速くボールを動かすようにコーチングするということももっと必要だったように思います。それでも中央の片寄優さんから有効なスルーパスが右サイドの井上さんにつながり何度もチャンスとなります。ゴールの枠を少しだけ外れる不運な惜しいシュートが続きましたが、決めたシュートは素晴らしい(また)強烈なゴロのシュートでした。一つだけ注文をつけるとすれば、やっぱり浮き球の処理。相手キーパーからのパントキックを前にはじき返せない(ヘッドでなくてもOK!)、たくさんあった漆間花さんからの絶妙なコーナーキックがなぜかゴール前を素通りするというお粗末なプレーがたくさんありました。最近ヘディングのスキルはどんどん上がっていると思っていたのでちょっと残念でした。もっと自信と勇気を持ってほしいと思います。

(5/3 松丘小)

南八王子 対 東加平U-11 4-0 (前半3-0)

得点者 片寄優さん (2)、気仙さん、井上さん

狭いピッチでスペースが作れず、持ち味の速いパス回しやドリブルができませんでした。ゴール前を固められた試合ではミドルやロングシュートが有効ですが、それに気づく選手がいなかったことも苦戦の原因です。でもこういう試合で有効なもう1つの戦術であるセットプレーから得点が生まれました。気仙さんのロングスローに合わせた片寄優さんの得点をはじめに、残りの3点は漆間花さんの絶妙なコーナーキックからの得点でした。特に気仙さんのヘディングでのゴールは女の子の試合とは思えない完璧な得点でした。

後半は3、4年生を中心に試合に臨みますが、相手を追いかけて回してボールを奪う姿勢は5、6年生でもお手本にして欲しいと思いました。

南八王子 対 エスペランサ 0-0

このグループ最大のライバルと思われる相手にやっぱり苦戦しました。確かにチャンスも多く作りましたが、危ないピンチを何度も与えてしまうという反省の多い試合となってしまいました。攻撃の課題は、集中力。相手ゴールの直前で何度もあったチャンスの場面では、良いところに味方がいたにも関わらず、決定的なボールタッチができなかったのはゴールを奪いたいという気持ちや意識が足りなかったためだと思います。守備の(永遠の)課題は浮き球の処理。ロビングボールを落としてから処理しようとするところから、数多くのピンチを作られていましたね。小沢さんが一度見せてくれた顔面ヘッドのように気持ちの入ったプレーは味方に勇気を与えますが、まずは怖がらない、よけないというプレーが必要です。

ところでこの試合のベストプレーヤーはキーパーの安井さんでした。キーパーが活躍する試合は正直褒められる内容ではないのですが、安井さんの反射神経の良さに3点は助けられたと思います。本当に頼もしい守護神でした。

(6/12 東加平小)
南八王子 対 杉四 5-0 (前半3-0)

得点者 片寄優さん (3)、漆間花さん (2)

試合としては約1ヶ月ぶり。さらにその間、運動会や雨天で思ったような練習ができなかったせいでしょうか？全体として低調な内容と感じました。狭いピッチでスペースが作りにくく、ドリブルやパスが使いつらいのは判りますが、簡単なボールコントロールミス、そしてコミュニケーションのまずさ(というより声かけがない)からお見合いになりそうな場面が何度も見られましたね。そういうまずい状況から何度もカウンター攻撃を狙われましたが、守備エリアの広いキーパー安井さんの堅守が目立つ試合となってしまいました。

南八王子 対 松丘 13-0 (前半8-0)

得点者 漆間花さん (4)、片寄優さん (3)、滝本さん (2)、
気仙さん (2)、井上さん (2)

1 試合目の反省から、①(ボールを受ける前に周囲を見て)判断を速くする、②有効なコミュニケーションでさらに判断のスピードを上げるを目当てにしました。この点はすごく向上したと思います。ボールを奪ってからの攻撃のスピードが格段に速くなり、時にはワンツーパスも見られました。チャンスがあれば、ゴールを狙うという気持ちもみんなから感じました。センターバックの小沢美さんは周囲にしっかりと指示が来ていましたし、自身がオーバーラップする時にも、「後ろを頼むよ」という声かけも聞こえましたよ。

ただ贅沢なのかもしれませんが、こういう試合ではだんだんプレーが雑になってきます。コントロールミスやゴール直前のシュートを力みすぎて、外す・ジャストミートしない・キーパーにぶつけるなどで数え切れないほどチャンスをつぶしていました。決め手は集中力だと思います。残り1試合、悔いを残さないように全力を尽くそう。

(6/19 杉並四小)
南八王子 対 杉六 8-0 (前半3-0)

得点者 片寄優さん (4)、漆間花さん (2)、滝本さん、気仙さん

狭いピッチでスペースがほとんど使えない中で、よく8点取ったと思います。

目標の1位抜けは逃しましたが、50日間に及ぶこの予選大会で大きく成長したのも事実です。例えば、ボールを奪ってからの攻撃の速さ。速いドリブルだけでなく、効果的なパスとそのパスを受ける選手の正確なファーストコントロール。試合の中で自然の流れで生まれるワンツーパス。右からでも左からでも上げられる速くかつ精度の高いプルバック。さらにコーナーキックやクロスボールからヘディングでゴールを狙う気持ちなどなど。1試合1試合、確実な成長を感じます。中央大会に向けての課題は、判断のスピードをさらに上げることと、フィニッシュ(シュート)の精度を上げることですね。しっかりと練習で身につけよう。

b y 飛田コーチ

部首歌留多 楽しんでますか。
合宿で各学年のチャンピオンを決めます。

2年生以上は100マス計算、
1学期の漢字書き取りチャンピオンも！

サッカーだけでなく勉強もGAMBAってほしいからです。

どれか一つでもチャンピオンをねらってチャレンジしようね！！

お家の人へ

お子さんの成績を心配してすぐ塾へと言わないでほしいと思います。

お家で勉強するくせをつけることにチャレンジしてください。

文を文として読み、意味が分かる力、早く丁寧に文を書く力が必要です。

音読、全文視写、計算ドリル、漢字ドリル、
以上、4つだけでも力は確実につきます。

その日の授業のノートを家で別のノートに清書することができる、読書もすれば鬼に金棒です。

学校で習っていることをわざわざお金と時間を使って塾に行く必要はないと思います。受験は別ですが。

そのお金を高いけれど安全な食を求めることに遣う、地元で取れた野菜を食する等に遣えばよいと思うのですが。如何でしょうか。

塾代を稼ぐために職に就くよりもお子さんと一緒にいる時間を確保の方が大切だと思うのですが。

矢上もお手伝いをします。

b y 矢上